

令和3年9月29日(水) 商業クラブ研究発表会出場

9月29日(水)に新潟商業高等学校で開催された令和3年度第28回新潟県高等学校商業クラブ研究発表大会に本校から2年生7名の生徒がチームを組んで出場しました。

【商業クラブ研究発表大会の目的】

商業を学ぶ生徒が、商業に関する課題を設定し、その解決を図る一連の研究活動の中で、生徒の問題解決能力や創造的学習態度を育てるとともに、その成果を発表する機会を通じて生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成する。

また、県内経済界はもとより、中学校の生徒や教師、広く県民一般に、理解と協力を求め商業教育を推進する。

【本校の発表テーマ】

「日本と諸外国の医療保険制度の比較から～今、私たちが考え、実践すべきこと～」

参加校は、新潟商業高等学校、新発田商業高等学校、長岡商業高等学校、高田商業高等学校、佐渡総合高等学校、本校の合計6校でした。

県内の商業プロパー校5校は全校出場、これに加えて佐渡総合高等学校も出場し、たいへん有意義な研究発表大会となりました。

本校から出場した2年生の生徒たちは夏季休業から猛練習を重ね、当日の発表会に臨みました。生徒の発表指導を担当していただいた市川 操教諭(外国語科)と目黒正栄教諭(商業科)に当日の引率もお願いしましたが、生徒の発表はたいへんすばらしいものであったと報告を受けています。

新学習指導要領においては「主体的、対話的で深い学び」を実現する授業改善が求められていますし、本校では来年度から新しくなる教育課程に「総合的な探究の時間」を設定します。商業クラブの目標にもある「課題を設定し、その解決を図る一連の研究活動の中で、生徒の問題解決能力や創造的学習態度を育てる」ことがこれからはますます重要になってきます。こうした研究発表大会への出場を機に授業改善への流れを作っていきたいと考えています。



リハーサルの様子



研究発表会の様子